

令和6年度

日本学生支援機構奨学金予約採用候補者

進学後手続き方法

奨学金を受けるために高校で手続きを行い、日本学生支援機構から「令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知」が届いている方は、現在、予約候補者という状況です。

大学へ進学後、所定の手続きを行わない限り、奨学生として正式採用とはならず、奨学金や授業料減免が受けられません。

この手続き方法を各自よく確認し、手続きを行ってください。

この日本学生支援機構奨学金は、学生本人が受けるものです。

手続きは、自分で責任をもっておこなひましょう。

予約採用候補者が正式採用となるまでの手続きのながれ

1. 必要書類をすべて作成し準備する（次のページ以降参照）

2. **4/1～4/20の期間**に書類を学生課の窓口に出す

3. 窓口で書類提出後、『進学届』入力のためのID・パスワードを受取る
書類がすべて揃っていたら、その場で、ID・PWをお渡しします。

4. 各自インターネットで『進学届』入力

4月8日（月）までに入力した場合

4月19日（金）振込開始

4月9日（火）～24日（水）に入力した場合

5月16日（木）振込開始（4,5月分一括）

5. 4月19日（金）または5月16日（木）に初回入金

口座に入金があるか各自確認してください。

1.必要書類をすべて作成し準備する

	書類名	対象者	書類の内容・注意点
①	採用候補者決定通知 【進学先提出用・本人保管用】	全員	裏面を記入し、本人保管用も切り離さずに参加
②	進学前準備チェックシート	全員	必要事項をすべて記入
③	学生本人名義 の銀行口座の通帳コピー ※通帳不発行口座の場合は、金融機関・口座名義・口座番号が分かるもの	全員	奨学金を毎月振り込むための口座 口座名義人及び口座情報が記載されているページをA4サイズにコピー
④	令和6年度 高等教育修学支援制度 授業料等返還用銀行口座振込依頼書	給付奨学生 ※1	※2 日本大学芸術学部のホームページからダウンロード 既に納入済の入学金・授業料との差額分を返還する口座（ <u>学生本人又は学費支弁者名義の口座</u> を記入）
⑤	大学等における修学の支援に関する法律による 授業料等減免の対象者の認定に関する申請書 (A様式1)	給付奨学生 ※1	※2 日本大学芸術学部のホームページからダウンロードし A4サイズ両面印刷
⑥	(1) 通学形態変更届（兼自宅外証明書送付状） (2) 通学形態変更届チェックシート (3) 自宅外通学を証明する書類（コピー可） 実家以外の場所に家賃を支払って居住していることの証明書類（契約者に本人氏名の記載がある賃貸契約書や入寮許可書等）	給付奨学生 ※1	「給付奨学生採用候補者のしおり」 8・11ページ参照 ※ 4月から自宅外通学への変更を希望する場合は、3月15日（金）までに必要書類を揃えて学生課にご提出下さい。 書類に不備があると申請ができませんのでご注意ください。
⑦	入学時特別増額貸与奨学金の申請書類 (1) 入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書 (2) 融資できない旨を記載した日本政策金融公庫発行の通知分のコピー（圧着ハガキの場合は、申込者（父母）氏名が記載されている宛名面も併せて提出）	該当者のみ	採用候補者決定通知の「入学時特別増額貸与奨学金（有利子）」の欄に『日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込:必要』と記載がある方で、入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合のみ必要 (1)の申告書は、※2 日本大学芸術学部のホームページからダウンロード

※次のページから各書類の作成方法を説明します。

1.必要書類をすべて作成し準備する

準備書類① 採用候補者決定通知の【本人保管用・進学先提出用】の記入

【本人保管用】も一度提出

【進学先提出用】

この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。

令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知【本人保管用】

令和6年10月16日

登録番号	99999901-100-00999		
学年等	3年	10組	独立行政法人 日本学生支援機構
出席番号	A000001		
氏名	学校用 見本 (カキコト 様)	様	

(印刷)

本機構は、あなたを下記のとおり令和6年度大学等奨学生採用候補者に決定しました。
 ついては、あなたが令和6年度に本機構奨学金対象の学校に進学（高等専門学校3年次生の場合は本機構奨学金対象の高等専門学校4年次に進級又は本機構奨学金対象の学校に進学。以下同じ。）し、定められた期限までに所定の手続きを完了したときに限り、奨学生として採用し、奨学金の振込みを開始します。

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	貸与奨学金			
	第1希望 併用貸与	第2希望 第一種奨学金	第3希望 第二種奨学金	入学時特別増額貸与奨学金 希望する
希望する				

選考結果	貸与奨学金			
	給付奨学金 候補者決定 支援区分：第1区分	併用貸与(※1) 候補者決定	第一種奨学金	第二種奨学金
要件確認 ① 国籍・在留資格等 家計に関する基準 ② 学業成績・学修意欲に関する基準 ③ 高卒後の期間、高卒認定合格(見込) ④ 必要書類の提出(※3)	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	— — — —	— — — —

2. 採用候補者となった奨学金の内容について

利用条件	給付奨学金 (※1)	第一種奨学金 (無利子) (※2)	第二種奨学金 (有利子)	入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)
	支援区分：第1区分◆ 社会的養護を必要とする人	最高月額利用：可 奨学生限特例：対象	最高月額 —	月額120,000円 一時金500,000円

進学届提出用パスワード (半角英数字10桁) **ABCE98765**

※ 進学後の手続きに必要になります。

この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。

令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】

令和6年10月16日

登録番号	99999901-100-00999		
学年等	3年	10組	独立行政法人 日本学生支援機構
出席番号	A000001		
氏名	学校用 見本 (カキコト 様)	様	

交付書類コード= F

※コードにより交付される書類が異なります。
封筒の裏面にご確認ください。

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	貸与奨学金			
	第1希望 併用貸与	第2希望 第一種奨学金	第3希望 第二種奨学金	入学時特別増額貸与奨学金 希望する
希望する				

選考結果	貸与奨学金			
	給付奨学金 候補者決定 支援区分：第1区分	併用貸与(※1) 候補者決定	第一種奨学金	第二種奨学金
要件確認 ① 国籍・在留資格等 家計に関する基準 ② 学業成績・学修意欲に関する基準 ③ 高卒後の期間、高卒認定合格(見込) ④ 必要書類の提出(※3)	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	— — — —	— — — —

2. 採用候補者となった奨学金の内容について

利用条件	給付奨学金 (※1)	第一種奨学金 (無利子) (※2)	第二種奨学金 (有利子)	入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)
	支援区分：第1区分◆ 社会的養護を必要とする人	最高月額利用：可 奨学生限特例：対象	最高月額 —	月額120,000円 一時金500,000円

裏面を必ず記入！

※ 裏面の「重要事項」を必ず確認してください。
 ※ 本通知を紛失した場合には、奨学金の振込開始が大幅に遅れますので、紛失しないよう気を付けてください。

【(国内大学等進学用) 進学後記入欄】

※海外大学進学者は使用しません。

学務番号			
学号			
(フリガナ)	4から始まる8桁の英数字 (例) 41A999-5		
氏名			
進学後の連絡先(本人)	住所	〒	
	電話番号		携帯電話番号

- 奨学金振込口座について (全員次の□にチェック)
 - 採用候補者本人名義の普通預金(通常貯金)口座を金融機関に設けました。
- 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの□にチェック)
 - 進学届にて「自宅通学」を選択します(入学月より自宅通学となるため)。
 - 進学届にて「自宅外通学」を選択します(入学月より自宅外通学となるため)。

ついては、進学先の学校へ入学月において自宅外通学であることの証明書類を提出します。
- 貸与奨学金について
 - 入学時特別増額貸与奨学金

(入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：必要」と印字がある人は、次のどちらかの□にチェック)

 - 入学時特別増額貸与奨学金を利用します。

については、本紙に次の2点の書類を添えて提出します。

 ① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」(本通知に同封の様式)
 ② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー
 (圧着がきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも提出します。)
 - 入学時特別増額貸与奨学金を辞退します(必要書類が課えられなかった場合を含む)。

ついては、インターネットによる進学届提出時に、併せて辞退の手続きを行います。
 - 保証制度 (「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの□にチェック)
 - 連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。
 - 進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します(条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む)。

チェックもしてください!

1.必要書類をすべて作成し準備する

準備書類② 進学前準備チェックシート (2ページ目) の記入

①採用候補者決定通知に記載されている内容を確認し、「進学前準備チェックシート」の「決定通知の記載内容」欄へ転記し、検討した結果を「検討後の内容」欄に記入してください。

この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。

令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知【本人保管用】

令和5年10月16日

登録番号	99999901-100-00999		独立行政法人 日本学生支援機構
学年等	3年 10組	出席番号	
氏名	学校用 見本 (ｶﾞﾝｶﾞｶﾞ 様)		(印影印刷)

本機構は、あなたを下記のとおり令和6年度大学等奨学生採用候補者に決定しました。
 ついては、あなたが令和6年度に本機構奨学金対象の学校に進学(高等専門学校3年次生の場合は本機構奨学金対象の高等専門学校4年次に進級又は本機構奨学金対象の学校に進学。以下同じ。)し、定められた期限までに所定の手続きを完了したときに限り、奨学生として採用し、奨学金の振込みを開始します。

記

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	貸与奨学金			
	第1希望	第2希望	第3希望	入学時特別増額貸与奨学金
給付奨学金	希望する	併用貸与	第一種奨学金	第二種奨学金

2. 採用候補者となった奨学金の内容について

利用条件	給付奨学金 (注1)	第一種奨学金 (無利子) (注2)	第二種奨学金 (有利子)	入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)
	支援区分：第1区分◆ 社会的養護を必要とする人	最高月額利用：可 猶予年限特例：対象	最高月額利用：可 所得連動返済方式 定額返済方式	月額120,000円 一時金500,000円

進学届提出用パスワード (半角英数字10桁) ABCDE98765

照らし合わせながら、作成してください。

＜採用候補者決定通知の記載内容を確認し、検討した結果を「検討後の内容」欄に記入＞

注。「併用貸与」の候補者に決定した人は、「2-1. 第一種奨学金」と「2-2. 第二種奨学金」の両方について、確認と検討を行ってください。

項目	決定通知の記載内容 (または決定内容を転記)	検討後の内容 (検討した結果を転記)	備考
1. 給付奨学金	<input type="checkbox"/> 「候補者決定」 <input type="checkbox"/> 「不採用」、「-」	<input type="checkbox"/> 利用する ※4ページ【A】の書類が必要 <input type="checkbox"/> 利用しない -	給付のみ利用する (貸与は利用しない) →5, 6
2-1. 第一種奨学金 (無利子)	<input type="checkbox"/> 「候補者決定」 <input type="checkbox"/> 「不採用」、「-」	<input type="checkbox"/> 利用する ※4ページ【A】の書類が必要 <input type="checkbox"/> 利用しない -	貸与について、第二種奨学金のみ利用する →2, 6
2-1-1. 貸与額	<input type="checkbox"/> 最高月額の利用「可」 <input type="checkbox"/> 最高月額の利用「不可」	<input type="checkbox"/> 最高月額 <input type="checkbox"/> 最高月額以外の月額 (円) <input type="checkbox"/> 最高月額以外の月額 (円)	※ 給付を併せて利用する場合は、第一種奨学金の貸与される月額が制限されます。
2-1-2. 返済方式	<input type="checkbox"/> 定額返済方式 <input type="checkbox"/> 所得連動返済方式	<input type="checkbox"/> 定額返済方式 <input type="checkbox"/> 所得連動返済方式 (注1-1は奨学金利用のみ適用) <input type="checkbox"/> 注1-2で「定額返済方式」を選択した人	
2-1-3. 保証制度	<input type="checkbox"/> 機関保証 <input type="checkbox"/> 人的保証	<input type="checkbox"/> 機関保証 <input type="checkbox"/> 人的保証 <input type="checkbox"/> 機関保証 (第二種奨学金のみ利用する人)	注1-2で「所得連動返済方式」を選択した人 注1-2で「人的保証」を選択できません
2-2. 第二種奨学金 (有利子)	<input type="checkbox"/> 「候補者決定」 <input type="checkbox"/> 「不採用」、「-」	<input type="checkbox"/> 利用する ※4ページ【A】の書類が必要 <input type="checkbox"/> 利用しない -	貸与について、第一種奨学金のみ利用する →3, 6
2-2-1. 貸与額	<input type="checkbox"/> 万円	<input type="checkbox"/> 万円 (2~12万円の中から1万円単位) <input type="checkbox"/> 14万円 (私立大学の薬学部・獣医学部のみ) <input type="checkbox"/> 16万円 (私立大学の法学部・政治学部のみ)	※ 第一種奨学金の保証制度と同一となります。
2-2-2. 保証制度	<input type="checkbox"/> 機関保証 <input type="checkbox"/> 人的保証	<input type="checkbox"/> 機関保証 <input type="checkbox"/> 人的保証 <input type="checkbox"/> 機関保証 (第二種奨学金のみ利用する人)	
2-2-3. 利率の算定方法	<input type="checkbox"/> 利率固定方式 <input type="checkbox"/> 利率見直し方式	<input type="checkbox"/> 利率固定方式 <input type="checkbox"/> 利率見直し方式	
3. 入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)	<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要	<input type="checkbox"/> 利用する (万円) (10~50万円の中から10万円単位) ※4ページ【B】の書類が必要 <input type="checkbox"/> 利用しない <input type="checkbox"/> 利用する (万円) <input type="checkbox"/> 利用しない	「国の教育ローン」に申し込み、必要書類を提出し、収入の2割以内の返済額を必要とする場合、必要書類をそろえられなかった人等適用
3-1. 利率の算定方法	<input type="checkbox"/> 利率固定方式 <input type="checkbox"/> 利率見直し方式	<input type="checkbox"/> 利率固定方式 <input type="checkbox"/> 利率見直し方式	注2-1. 第二種奨学金と併せて利用しない場合のみ適用

2ページ目

進学前準備チェックシート

このチェックシートは、進学後の手続きに必要な「進学届」の提出を行うために、進学届の作成の補助及び検討を目的とします。
 必ず、進学するまでに、それぞれの項目について内容を確認し、検討し、進学後の手続きが完了しているか、チェックしてください。

＜採用候補者決定から進学までの流れ＞

```

    graph TD
      A[採用候補者決定] --> B[「進学届」の提出]
      B --> C[「採用済学生・奨学金の振込開始」]
      C --> D[「奨学金の振込み」]
      D --> E[「卒業生証」]
      E --> F[「卒業生証」]
    
```

※ 「採用済学生」が自費で入学する場合や奨学金を受けない場合は、自費で入学することになります。この場合は、進学届の提出は不要です。
 ※ 「採用済学生」が自費で入学する場合は、自費で入学することになります。この場合は、進学届の提出は不要です。
 ※ 「採用済学生」が自費で入学する場合は、自費で入学することになります。この場合は、進学届の提出は不要です。

～「進学前準備チェックシート」の進め方～

「検討」欄に「必要事項」を記入し、必要書類を提出し、収入の2割以内の返済額を必要とする場合、必要書類をそろえられなかった人等適用

準備書類③ 学生本人名義の銀行口座の通帳コピー

※通帳不発行の口座の場合は、金融機関名・口座番号・口座名義が分かるもの

毎月の奨学金は、**奨学生本人（学生本人）名義の口座**に振り込みます。進学するまでに使用できる口座を必ず用意してください。

	使用できる	使用できない
金融機関	日本国内の銀行（ゆうちょ銀行を含む）、信用金庫、労働金庫、信用組合（一部を除く） ※機構の取扱金融機関であれば、インターネット支店は利用できます。	農協，信託銀行，外資系銀行，インターネット專業銀行（楽天銀行，ジャパンネット銀行等），その他一部の銀行（新生銀行・あおぞら銀行・セブン銀行等）
口座	本人名義の普通預金（通常貯金）の口座	本人以外の名義の口座，貯蓄預金口座，休眠口座，NISA口座

「進学届」では、正確に振込口座情報を届け出る必要があります。

※ 毎年、口座入力を誤り、奨学金が振り込まれない事例が生じております。

1.必要書類をすべて作成し準備する

準備書類④ 「授業料等返還用銀行口座振込依頼書」の記入

採用候補者決定通知の1.選考結果についての「給付奨学金」欄に「採用候補者」と記載されている方は、「④授業料等返還用銀行口座振込依頼書」を記入してください。給付奨学金の採用候補者の方は日本大学芸術学部から授業料減免も申請できます。出願時に採用候補者通知を大学に提出していなかった方や、今後、区分変更などがあった方に授業料を返還するために1年間使用します。

日本大学芸術学部のホームページからダウンロード

この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。

令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知【本人保管用】
令和5年10月16日

登録番号	99999901-100-00999		独立行政法人 日本学生支援機構
学年等	3年	10組	
出席番号	A000001		
氏名	学校用 見本 (カガヤキ 様)	様	

(印影印刷)

本機構は、あなたを下記のとおり令和6年度大学等奨学生採用候補者に決定しました。
 については、あなたが令和6年度に本機構奨学金対象の学校に進学（高等専門学校3次生の場合は本機構奨学金対象の高等専門学校4次に進級又は本機構奨学金対象の学校に進学。以下同じ。）し、定められた期限までに所定の手続きを完了したときに限り、奨学生として採用し、奨学金の振込みを開始します。

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	貸与奨学金			
	給付奨学金	第1希望 併用貸与	第2希望 第一種奨学金	第3希望 第二種奨学金
希望する	希望する			希望する

選考結果	貸与奨学金		
	給付奨学金	併用貸与(※1)	第二種奨学金
	候補者決定	候補者決定	—
	支援区分：第1区分		

※1 併用貸与とは、第一種奨学金と第二種奨学金の両方の貸与を受け入れることを表します。
 ※2 「○」は各条件・資格等に該当、「×」は非該当（必要書類の不備が解消されていない場合や未提出の場合等の理由による判定不可を含む）、「—」は該当していない（もしくは希望職位の高い職位が決定した）ため未判定であることを示します。
 ※3 「必要書類の提出」とは、「奨学金情報誌」、マイナンバーを提出できない場合の「所得証明書」等又は国籍・在留資格に関する証明書（該当者のみ）等です。

2. 採用候補者となった奨学金の内容について

利用条件	給付奨学金 (※1)	第一種奨学金 (無利子) (※2)	第二種奨学金 (有利子)	入学時特別奨励貸与奨学金 (有利子)
	支援区分：第1区分 社会的養護を必要とする人	奨学金月額：可 猶予年額特例：対象	奨学金月額：可 猶予年額特例：対象	月額120,000円 一時金500,000円

※1 給付奨学金の月額とは「利用条件」欄に記載の「支援区分」、進学の学校の学校種別、設置者（国公立）及び通学形態（自宅通学・自宅外通学）により定めます。なお、定額返済は、奨学金の返済より先取り返済となります。
 ※2 給付奨学金の支援区分に「※」印がある人で非所得制限等の要件から進学する場合、又は、社会的養護を必要とする人で児童養護施設等から進学する場合の給付奨学金の月額とは「給付奨学金情報誌」の「奨学金」欄に記載の「月の金額」となります。
 ※3 併用貸与に該当する場合は「申込時の選択内容」に記載の内容は、「通学費」の返済時に改めて選択し直すことができます（「通学費」の返済に1回内容が確定し、その後は変更できない期間が経過することとなります）。
 ※4 第一種奨学金の奨学金月額は、進学の学校の学校種別、設置者（国公立）及び通学形態（自宅通学・自宅外通学）により定めます（貸与奨学金利用候補者の「おとり」学部）の中から「おとり」学部として選択します。ただし、第一種奨学金の「利用条件」欄に「最長月額利用不可」と印されている場合は「最長月額」は利用できません（「最長月額利用不可」からの選択はなりません）。また、併付奨学金を併せて利用する場合は、第一種奨学金の奨学金月額の制限されます。
 ※5 海外大学進学者は「奨学金保証制度」「人的保証制度」の両方への加入が必要となります。

進学届提出用パスワード (半角英数字10桁)
 ※ 進学後の手続きにて必要になります。
 ABCDE98765

※ 本通知の「奨学金情報誌」を必ず予読してください。
 ※ 本通知を紛失した場合には、奨学金の振込開始が大幅に遅れますので、紛失しないよう気を付けてください。

この欄に「候補者決定」と記載されている方は、右の書類が必要です。

日本大学芸術学部のホームページからダウンロード

令和 年 月 日

**令和6年度
高等教育修学支援制度 授業料等返還用
銀行口座振込依頼書**

日本大学芸術学部 行

学科	フリガナ	学生番号	4から始まる8桁の番号
氏名	フリガナ	印	(ご捺印ください)
住所	〒		
電話番号	—		
口座名義人との続柄	本人・父・母等		

貴学部からの返還額は、下記の指定銀行口座へお振込みください。

振込口座記入欄 (学生本人又は学費支弁者名義の口座をご記入ください)

金融機関名	預金種別		口座名義
	普通	当座	
銀行	フリガナ		
支店名	店番号		
支店			

※ゆうちょ銀行指定の場合、旧郵便局(ゆうちょ銀行)口座の記号・番号では振込みできません。
 新ゆうちょ銀行口座の店名・店番号・預金種目・口座番号・口座名義を正しくご記入ください。

ご記入いただいた個人情報、振込等の業務遂行上、必要な限りにおいて利用させていただきます。
 また、法令に定める場合を除き、本人の同意を得ることなく第三者に個人情報を提供することはありません。
 変更が生じた場合は速やかに変更手続きを行ってください。

以上

学生本人又は学費支弁者の名義

1.必要書類をすべて作成し準備する

準備書類⑤ 「大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者の認定に関する申請書（A様式1）」の記入

採用候補者決定通知の1.選考結果についての「給付奨学金」欄に「採用候補者」と記載されている方は、「大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者の認定に関する申請書（A様式1）」を記入してください。給付奨学金の採用候補者の方は日本大学芸術学部から授業料減免も申請できます。

この通知は、選考結果の手続きに必要となります。紛失しないよう大切に保管してください。

令和5年度大学等奨学生採用候補者決定通知【本人保管用】
令和4年10月17日

登録番号	99999901-100-00999		
学年等	3年	10組	
出番番号	A000001		
氏名	学校用 見本	様	
	(英) 2023 (英)		

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	奨学金			
	給付奨学金	第1希望	第2希望	第3希望
希望する	借付貸与	第一種奨学金	第二種奨学金	希望する

選考結果	給付奨学金		借付貸与(※1)		第二種奨学金	
	候補者決定	支援区分: 第1区分	候補者決定	借付貸与	借付貸与	借付貸与
本学	○	○	○	○	○	○
他校	○	○	○	○	○	○

2. 採用候補者となった奨学金の内容について

利用条件	給付奨学金(※1)	第一種奨学金(借付貸与)	第二種奨学金(有利子)	入学時特別奨励金(有利子)
利用条件	支援区分: 第1区分 社会的養育を必要とする人	養育月額利用: 可 貸付形態特別: 対象	養育月額: 月額120,000円	日本学術振興会公庫の「国の教育ローン」の申込・不要

進学選出用パスワード(半角英数字10桁)
ABCD98765

日本大学芸術学部のホームページからダウンロード

大学等における修学の支援に関する法律による
授業料等減免の対象者の認定に関する申請書 A様式1

芸術学部長 殿

私は、貴学に対し、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者としての認定を申請します。

申請にあたっては、私は以下の事項を確認し、理解しています。

- この申請書の記載事項は事実と相違ありません。なお、申請書の記載事項に事実と相違があった場合、認定を取り消され、減免を取り戻されることがあるとともに、在学中に学校から減免を受けた金額の支払を求められることがあり得ることを承知しています。
- 授業料等減免の対象者の認定手続きにおいて、独立行政法人日本学生支援機構(以下、「機構」という。)を通じて、学校法人日本大学が機構の保有する私の給付奨学金に関する情報の送付を受けること、及び機構が学校法人日本大学の保有する私の授業料等減免等に関する情報の送付を受けることに同意します。
- 現在、他の学校において、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免を受けておらず、当該授業料等減免の対象者の認定申請中でもありません。
- 授業料等減免の対象者となった後に、支援区分の変更等によって納入済の授業料の一部が返還される場合は、給付奨学金の返還に同意することに同意します。
- 大学等における修学の支援に関する法律施行規則第16条に該当して認定の取消を受けた場合、一度減免された授業料等の納付が求められることを承知しています。

※以下のすべての項目を申請者本人が記入してください。(※を附した項目については、該当者のみ記入すること。)

フリガナ	フリガナ	入学年月	年 月 入学
氏名	氏名	年 月 日 生	(歳)
生年月日(西暦)	年 月 日	生	(歳)
現住所	都道府県	市区町村	
所属学部・学科等	学部	学科	学生番号
学年	昼間・夜間・通信の別	□昼 □夜 □通信	4から始まる8桁の番号
過去に本制度の支援を受け(学校名)	(期間/月数)	年 月 ~ 年 月 / 月	
過去に本制度の入学金減免を受けたことがありますか。	ある	ない	

機構の給付奨学金に関する情報
(いづれかの□に✓印を付け、右欄に該当する番号を記載してください。)
※学納済用の授業料減免は、機構からの通知のメールを添付すること。

予約採用の申込を行った者
【給付奨学金の申込の受付番号(採用候補者決定については採用番号、給付奨学金となった後は奨学生番号)】

在学(在学予約)採用の申込を行った者
【給付奨学金の申込の受付番号(採用候補者となった後は奨学生番号)】

この欄に「候補者決定」と記載されている方は、右の書類が必要です。

準備書類⑤ 自宅外通学を証明する書類（コピー可）

・「自宅外通学」の区分で支給を受けるためには、実家以外の場所に家賃を支払って居住していることの証明書類（アパートの賃貸借契約書のコピー等）の提出が、進学時を含め毎年度必要です。

実家以外の場所に家賃を支払って居住していることの証明書類

（アパートの賃貸借契約書のコピー等）

・進学時に提出する「進学届」にて「自宅通学」「自宅外通学」のいずれかを選択します。
（ただし、「自宅外通学」を選択するためには、次のア～オのいずれかに該当している必要があり、これに該当しない場合には、実際に実家以外の場所に居住している場合であっても、「自宅通学」を選択することになります。）

ア. 実家（生計維持者いずれもの住所）から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上（目安）

イ. 実家から大学等までの通学時間が片道120分以上（目安）

ウ. 実家から大学等までの通学費が月1万円以上（目安）

エ. 実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であって、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間当たり1本以下（目安）

オ. その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合

準備書類⑤ 自宅外通学を証明する書類の例

<アパート等の賃貸借契約をしている場合>

契約名義		証明書類
奨学生 本人名義 で賃貸借契約を行っている場合		<ul style="list-style-type: none"> ・「賃貸借契約書」のコピー (契約日、入居日、契約期間、契約内容等が分かり、本人の居住が明確に判別できるもの)
奨学生 本人以外 の名義で賃貸借契約を行っている場合	賃貸借契約書に 入居者欄 があり、 奨学生本人が居住していることが分かる 場合	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者欄に奨学生本人氏名が記載された「賃貸借契約書」のコピー (契約日、入居日、契約期間、契約内容等が分かるもの)
	賃貸借契約書に 入居者欄 がなく、 奨学生本人が居住していることが不明 な場合	<p style="text-align: center;">+</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「奨学生本人の居住証明書」 「居住証明書」は賃主や契約業者に作成を依頼 「居住証明書」の提出が困難な場合は、「奨学生本人氏名が記載された入居申込書」のコピー等

<学生寮に入っている場合>

入寮義務	証明書類
学校から入寮を義務付けられている場合	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が承認した「入寮許可証」のコピー (寮費が発生していることが分かるもの※) <p style="text-align: center;">+</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入寮が義務付けられていることが確認できるもの
学校から入寮を義務付けられていない場合	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が承認した「入寮許可証」のコピー (寮費が発生していることが分かるもの※)

※「入寮許可証」に寮費の発生について記載がない場合は、学則や学生寮規則等の該当部分コピーを添付

1.必要書類をすべて作成し準備する

準備書類⑦ 入学時特別増額貸与奨学金の申請書類の記入

準備2の「進学前準備チェックシート」2ページ目で記入した「3.入学時特別増額貸与奨学金」欄で以下のチェックをした方は入学時特別増額貸与奨学金の申請書類 ①入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書 ②融資できない旨を記載した日本政策金融公庫発行の通知分のコピー（圧着ハガキの場合は、申込者（父母）氏名が記載されている宛名面も併せて提出）が必要です。①の書類は日本学生支援機構から採用候補者決定通知が届いた封筒に同封されています。

この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。
令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知【本人保管用】
 令和5年10月16日

登録番号	99999901-100-00999		
学年等	3年	10組	独立行政法人 日本学生支援機構
出席番号	A000001		
氏名	学校用 見本 (がっかり 様)	様	

本機構は、あなたを下記のとおり令和6年度大学等奨学生採用候補者に決定しました。
 ついては、あなたが令和6年度に本機構奨学金対象の学校に進学（高等専門学校3年次生の場合は本機構奨学金対象の高等専門学校4年次に進級又は本機構奨学金対象の学校に進学。以下同じ。）し、定められた期間までに所定の手続きを完了したときに限り、奨学生として採用し、奨学金の振込みを開始します。

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	貸与奨学金			
	給付奨学金	併用貸与	第一種奨学金	第二種奨学金
希望する				

選考結果	貸与奨学金			
	給付奨学金	併用貸与(※1)	第一種奨学金	第二種奨学金
候補者決定	○	○	○	○
支援区分: 第1区分	○	○	○	○
候補者決定	○	○	○	○
選考結果	○	○	○	○
選考結果	○	○	○	○
選考結果	○	○	○	○
選考結果	○	○	○	○

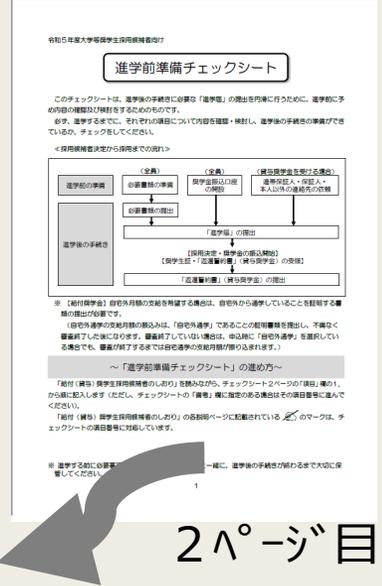
2. 採用候補者となった奨学金の内容について

利用条件	給付奨学金 (※1)	第一種奨学金 (無利子) (※2)	第二種奨学金 (有利子)	入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)
支援区分: 第1区分	社会福祉を必要とする人	最高月額利用: 借入年額特例: 対象	最高月額: 月額120,000円	日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込(※3)
申込時の選択内容	貸付額	所得連動返済方式	定額返済方式	定額返済方式
返済方法	所得連動返済方式	定額返済方式	定額返済方式	定額返済方式
保証制度	機関保証	人的保証	人的保証	人的保証
利率の算定方式	利率見直し方式	利率見直し方式	利率見直し方式	利率見直し方式

①ここが「必要」になっていて、
 ②ここで「利用する」を選択した方

＜採用候補者決定通知の記載内容を確認し、検討した結果を「検討後の内容」欄に記入＞
 ※「併用貸与」の候補者に決定した人は、「2-1. 第一種奨学金」と「2-2. 第二種奨学金」の両方について、機関と機関を併せてください。

項目	決定通知の記載内容 (※3は決定の併用候補)	検討後の内容 (※3は決定の併用候補)	備考
1. 給付奨学金	<input type="checkbox"/> 「候補者決定」 <input type="checkbox"/> 「不採用」、「-」	<input type="checkbox"/> 利用する ※4ページ [A] の書類が必要 <input type="checkbox"/> 利用しない -	給付のみ利用する (貸与は利用しない) →3, 6
2-1. 第一種奨学金 (無利子)	<input type="checkbox"/> 「候補者決定」 <input type="checkbox"/> 「不採用」、「-」	<input type="checkbox"/> 利用する ※4ページ [A] の書類が必要 <input type="checkbox"/> 利用しない -	貸与について、第二種奨学金のみ利用する →2-2, 6
2-1-1. 貸付額	<input type="checkbox"/> 最高月額の利用「可」 <input type="checkbox"/> 最高月額の利用「不可」	<input type="checkbox"/> 最高月額 <input type="checkbox"/> 最高月額以外の月額 (円) <input type="checkbox"/> 最高月額以外の月額 (円)	※ 併用貸与で利用する場合は、第一種奨学金の貸付額が削減されます。
2-1-2. 返済方式	<input type="checkbox"/> 定額返済方式 <input type="checkbox"/> 所得連動返済方式	<input type="checkbox"/> 定額返済方式 <input type="checkbox"/> 所得連動返済方式 (※1-5は機関保証のみ適用)	
2-1-3. 保証制度	<input type="checkbox"/> 機関保証 <input type="checkbox"/> 人的保証	<input type="checkbox"/> 機関保証 <input type="checkbox"/> 人的保証	
2-2. 第二種奨学金 (有利子)	<input type="checkbox"/> 「候補者決定」 <input type="checkbox"/> 「不採用」、「-」	<input type="checkbox"/> 利用する ※4ページ [A] の書類が必要 <input type="checkbox"/> 利用しない -	貸与について、第一種奨学金のみ利用する →3, 6
2-2-1. 貸付額	<input type="checkbox"/> 〇万円	<input type="checkbox"/> 〇万円 (2-1-2万円の中から1万円増額) <input type="checkbox"/> 14万円 (私立大学・専修科・専修学校のみ) <input type="checkbox"/> 16万円 (私立の大学・専修科・専修学校のみ) <input type="checkbox"/> 2-1-3で「所得連動返済方式」を選択した人	※ 第一種奨学金の保証制度と同一となります。
2-2-2. 保証制度	<input type="checkbox"/> 機関保証 <input type="checkbox"/> 人的保証	<input type="checkbox"/> 機関保証 <input type="checkbox"/> 人的保証	
2-2-3. 利率の算定方式	<input type="checkbox"/> 利率固定方式 <input type="checkbox"/> 利率見直し方式	<input type="checkbox"/> 利率固定方式 <input type="checkbox"/> 利率見直し方式	
3. 入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)	<input type="checkbox"/> 「-」	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する (〇万円) (10-90万円のうち10万円増額) ※4ページ [B] の書類が必要 <input type="checkbox"/> 利用しない <input type="checkbox"/> 利用する (〇万円) <input type="checkbox"/> 利用しない	「国の教育ローン」に申し込み、併用貸与と併用される場合は、併用貸与の返済額が削減されます。
3-1. 利率の算定方式	<input type="checkbox"/> 利率固定方式 <input type="checkbox"/> 利率見直し方式	<input type="checkbox"/> 利率固定方式 <input type="checkbox"/> 利率見直し方式	



2ページ目

必要書類の準備が整ったら、以下の提出期間に学生課に提出

提出期間：2024年4月1日（月）～20日（土）

※「予約採用候補者が正式採用となるまでの手続きのながれ④」まで、不備なく完了した場合に、奨学金の振込が開始されます。5月が初回振込となっても、4月分の奨学金とあわせて2か月分が振り込まれますが、4月分の奨学金を4月に振込希望の方は、4月8日までに④までのながれが完了している必要がありますのでご注意ください。